|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学校経営推進費　事業計画書** | | | |
| **１．事業計画の概要** | | | |
| **学校名** | | | 履正社高等学校 |
| **取り組む課題** | | | Ｂ キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現） |
| **評価指標** | | | ・国公立大学進学者数の増加  ・外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上  ・全国的な学力コンクールでの顕彰  ・学校評価アンケートにおける生徒の思考力、判断力、表現力の向上 |
| **計画名** | | | 「フューチャークラスルーム：FCR」（プレゼンテーションルーム）で「21世紀型教育」を推進  ～「学びを楽しめる生徒」の育成 |
| **２．事業計画の具体的内容** | | | |
| **学校経営計画の**  **中期的目標** | | | 令和４年度事業計画  2．教学等計画  2-1中学校・高等学校  ② 学校運営の課題  新学習指導要領の実施と大学入試改革が進行する現在、「受け身の教育」から、生徒が「主体的に学ぶ教育」への転換を促すものであり、ICTの活用やアクティブ・ラーニングの展開を通じて、物事を「探究」する能力を育成することをめざしている。本校においても、教育課程や行事計画等、教育活動や教育内容を、常に見直し、新しい時代に相応する学校運営体制の確立を図り、21世紀型教育を推進する。 |
| **事業目標** | | | ア．「学びを楽しめる生徒」の育成  １、２年生の「総合的な探究の時間」では、現実社会を題材に、「正解のない問い」を通して、仲間と対話し、意見をまとめて発表することで、思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力を育む教育プログラム「QUEST　EDUCATION」を実施する。また放課後に、英語によるコミュニケーション技能を身につけるために、ネイティブ教員がオールイングリッシュで行う「グローバルゼミ」を実施する。その際、可動式教育用チェア「ノードチェア」と、前方と後方に大型ホワイトボードを配置した「フューチャークラスルーム：FCR」を活用し、現在の普通教室より、効率よくグループ討議、プレゼンテーションを行うことで、「受け身」ではなく「主体的」に学びに向かう力やコミュニケーション力を身につけた「学びを楽しめる生徒」の育成をめざす。 |
| **取組みの概要** | **整備する**  **設備・物品** | | 選択教室を「フューチャークラスルーム：FCR」（プレゼンテーションルーム）に改築  ・可動式教育チェア「ノードチェア」（16台）、大型ホワイトボード（２式）の整備 |
| **取組内容** | **前年度** | * 「システム検討会議」による「新しい履正社高校」の基本計画策定（４月） * 「履高あり方検討委員会」メンバーによる具体的方策（総合探究、専攻ゼミ、部活動、ネット担任制度等）の検討（４月～３月） * 「探究活動」先進的取組校担当者への取材（12～３月） * 「総合探究」担当者による指導計画の策定（２～３月） * 全教員対象研修の実施（３月） |
| **初年度** | * 「総合探究」、「グローバルゼミ」担当者による授業・講習の実施（通年） * 「総合探究」担当者による指導内容の打ち合わせ（毎週土曜日） * 「フューチャークラスルーム：FCR」完成・全教員による研修（10月） * 「履正CUP（総合探究発表会）」の実施（11月） * 「QUEST CUP」全国大会予選出場チームの決定（11月） * 全国大会予選へのエントリー（12月） * 「学校評価アンケート」の実施・集計・分析（１～２月） * 次年度に向けた指導内容の検討・決定（３月） |
| **２年め** | * 「総合探究」、「グローバルゼミ」担当者による授業・講習の実施（通年） * 「総合探究」担当者による指導内容の打ち合わせ（毎週土曜日） * 「履正CUP（総合探究発表会）」の実施（11月） * 「QUEST CUP」全国大会予選出場チームの決定（11月） * 全国大会予選へのエントリー（12月） * 「学校評価アンケート」の実施・集計・分析（１～２月） * 全国大会への出場・佳作以上を受賞（２月） * 次年度に向けた指導内容の検討・決定（３月） |
| **３年め** | * 「総合探究」、「グローバルゼミ」担当者による授業・講習の実施（通年） * 「総合探究」担当者による指導内容の打ち合わせ（毎週土曜日） * 「履正CUP（総合探究発表会）」の実施（11月） * 「QUEST CUP」全国大会予選出場チームの決定（11月） * 全国大会予選へのエントリー（12月） * 「学校評価アンケート」の実施・集計・分析（１～２月） * 全国大会への出場・優秀賞以上を受賞（２月） * 次年度に向けた指導内容の検討・決定（３月） |
| **取組みの**  **主担**  **・実施者** | | * 主担：教務部入試広報室（広報・探究推進リーダー） * 取組みの実施者：１、２年生「総合的な探究の時間」担当者、「グローバルゼミ」担当者 |
| **成果の検証方法**  **と評価指標** | | **初年度** | * 総合型選抜による国公立大学合格者数が３名以上。 * 「スタディーサポート」のGTZ　B1レベル以上が生徒全体の20％以上。 * 探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会予選に参加。 * 「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価70%以上 |
| **２年め** | * 総合型選抜による国公立大学合格者数が５名以上。 * 「スタディーサポート」のGTZ　B1レベル以上が生徒全体の25％以上。 * 探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会に出場し、佳作以上を受賞。 * 「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価75％以上 |
| **３年め** | * 総合型選抜による国公立大学合格者数が10名以上。 * 「スタディーサポート」のGTZ　B1レベル以上が生徒全体の30％以上。 * 探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会に出場し、優秀賞以上を受賞。 * 「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価80%以上 |